

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2014年5・6月号



高校生の正念場、高総体が開催
されました☆ 花巻出身の選手たちも
活躍していましたよ！嬉しいですね～
Let's enjoy handball!!

燃える高校生!! 高総体でインターハイの 出場権を得たのはどこだ?

5月30日～6月1日にかけて、花巻市総合体育館を会場として県高校総体が開催され、インターハイ出場を目指す県内の高校生ハンドボールが熱戦を繰り広げました。男子は、昨年度の高校秋季大会そして県新人戦において、不來方高校を破り頂点に輝いた盛岡南高が、夏の大会でも王者に土をつけるのか、また女子の部では、同じく不來方高校の連覇を阻んで昨夏優勝を飾った盛岡白百合が、今度は自分たちの連覇を始めるのか大きな注目を集めました。

さて、男子の部ですが、不來方高が盛岡中央、盛岡三高を相手に順当勝ちし、ベスト4に名乗りを上げます。準決勝では盛岡一高との対戦。ここで伝統校・盛岡一高は一進一退の攻防を展開し、王者不來方と互角の戦いを繰り広げます。後半終盤になっても均衡は破れず、互いに点を取っては取られ、ついに同点という場面に。会場は一時騒然となりましたが、ここで冷静に得点を重ねた不來方高がわずかなリードを守り、ついに決勝へと駒を進めました。24-22と不來方に2点差と迫り、小柄ながらもスピードある展開で王者を翻弄した盛岡一高に、会場からも大きな賛辞の音が挙がりました。

女子の部は、大会初日から大きな盛り上がりを見せました。盛岡南高 vs 盛岡誠桜高の試合では、前半大きくリードされていた盛岡誠桜が怒涛の追い上げを見せ、同点のままタイムアップ。今大会最初の延長戦にもつれ込み、この勢いのまま盛岡誠桜が押し切るかと思われましたが、地力で勝る盛岡南が22-19で辛勝しました。ベスト4の一角をここまで苦しめた盛岡誠桜の今後に期待が高まります。花巻勢は、ベスト4入りが期待された花巻南がなんと初戦で不來方高と激突。スタメンの半分が1年生という布陣で臨みましたが、やはり壁は厚く、24-15で敗退しました。しかし1年生メンバー主体で健闘したことを考えると、こちらも新人戦以降の躍進に期待が膨らみます。また、準々決勝で盛岡白百合高に36-8と大敗してしまった花巻北高ですが、センターを務めた阿部沙紀選手は、なんと左手の骨折を押しての出場。痛々しいギブス姿を言い訳にすることなく、最後までコートに立ち続けました。阿部選手は特別敢闘賞を受賞しましたが、本当にその誉に値する一生懸命さで、見ている



者に感動を与えてくれました。

さて、ついに女子決勝の舞台に立ったのは不來方高と盛岡白百合高。序盤は盛岡白百合がペースをつかみ、この流れが続くかと思いきや、不來方も徐々に反撃モードに。前半は白百合が1点差で折り返しますが、後半も互いに抜け出すことができず、今大会2試合目となる延長戦へ。延長に入ってもシーソーゲームは続きましたが、盛岡白百合の廣田音奏主将が要所でパスカットからの速攻を決め、ダブルエースの高田静選手、山本樹選手がミドルシュートでダメ押し。盛岡白百合高が嬉しい大会2連覇を達成しました。

男子決勝はまたもや不來方と盛岡南の顔合わせ。



ついに夏の大会で不來方高の連覇が途切れるか、はたまた王者の貫録を見せるか会場中の視線が集まる中、序盤から一歩抜け出したのは後者でした。佐藤夢良主将、山崎純平選手(ともに花巻北中出身)の両エースが緒戦から気合のこもったプレーを見せ、前半をリードして折り返します。後半もそのペースは続き、「危なげない」という言葉がふさわしい試合展開で、不來方高が17年連続19回目の優勝を果たしました。チームをけん引した佐藤夢良選手は、今大会の最優秀選手に選ばれました。男子の部では、この他に、花巻南高のサウスポー籠嶋直哉選手(花巻北中OB)が特別敢闘賞に選ばれました。

男女上位2チームは、6月28日から福島県で開催される東北高校総体へ出場します。是非岩手県チームが優勝するよう応援したいですね。また、8月のインターハイに出場する男子・不來方高、女子・盛岡白百合高は、昨年の雪辱を果たせるよう、上位入賞を目指して頑張ってください！

ハンドボール界の松岡修造こと銘苺選手がハンガリーから凱旋☆

6月6日～8日、世界でも指折りのトップリーグであるハンガリーで活躍する日本人プロハンドボールプレーヤー、銘苺淳選手が、シーズンオフを利用して花巻にいらっやいました！これまで何度も被災地である東北にも足を運び、元氣と勇氣を与え続けてくれている銘苺選手ですが、今回も短い花巻滞在の中でたくさんの人たちに笑顔と元氣を届けてくれました。

まず6月6日の午後に花巻に到着すると、花巻中学校にて花巻中ハンドボール部員を対象に講演会。大好きなドリカムの歌からの素敵なフレーズを散りばめたプレゼンで、聴く者全てを引き付ける熱いメッセージを伝えてくれました。ハンドボールを一生懸命やるということだけでなく、自分はこの世に唯一無二の存在だということなど、自分の人生を見つめなおす後押しをしてくれるような素晴らしい講演でした。同席された花巻中・熊谷校長先生は、「是非全校生徒に聴かせたい内容だった」と大絶賛。また、この講演の様子は、IBCラジオの部活紹介のコーナーで生放送されました。講演会終了後は体育館に移動し、ハンドボールの実技講習会が行われました。バランスボールを使ったり、様々な工夫を凝らした普段とは違う練習メニューで、生徒たちも興味を持って取り組んでいました。



翌日からは銘苺選手の新たな取り組みがスタート。なんと、指導者に恵まれないハンドボール部のために、練習用のDVDを作るというもの！この日のために、ハンドボールのナショナルチームのトレーナーも務める永井先生が撮影スタッフとともに来花し、花巻北高体育館を会場に撮影が行われました。モデルとなったのは富士大学男子ハンドボール部。午前中はどのようなメニューを実践するかリハーサルを兼ねて練習が行われました。私編集長は都合により午後の撮影までは一緒にできませんでしたが、リハーサルの内容だけみても、かなり効率的かつ工夫された練習メニューで、非常に面白いなと思いました。1時間～90分と言われる

ヨーロッパの練習時間において、OFとDFの練習が同時にできる複合的なメニューはとても重要であり、これを実際に現地でやっている銘苺選手のDVDは必ず素晴らしい内容になると確信しました！

銘苺選手は、貴重な帰国の時間も、日々全国各地を回り、ハンドボールの素晴らしさを広める活動をしています。私たちもその姿勢を見習い、若い世代にハンドボールの魅力伝えていきたいと思ひます。銘苺選手の今後のますます活躍を祈るとともに、また花巻でお会いできることを楽しみにしています☆

春季小学生ハンドボール教室のご案内です☆

当初予定より2週間ほど遅れましたが、花巻市体育協会主催の小学生ハンドボール教室が、6月16日よりスタートしました。今回も、特に低学年を中心にハンドボール未経験者が多く集まり、花巻総合体育館は賑やかな声に包まれました。石鳥谷や大迫地域からの参加者も徐々に増えており、非常に嬉しく思っています。いつの間にかハンドボールが大好きになって、気が付けば少しずつ上達していく子どもたちがどんどん増えていけば素敵ですね！

小学生ハンドボール教室は、6月30日、7月7日、14日と、まだまだ続きます。もっとたくさんの友達が増えることを期待してお待ちしています☆

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2014年5・6月号
2014年6月25日発行
発行：花巻市ハンドボール協会